

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries



インスピレーションになろう

ガバナー月信 Vol.9

国際ロータリー第2840地区〈群馬〉2018-2019年度

水と衛生月間



2019 03

宮内ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL 027-212-2840

FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ	01
米山記念奨学生選考会	02
第1回 地区補助金予備審査会	03
第6回 青少年交換委員会	04
青少年交換プログラム派遣候補生 第2回 オリエンテーション	05
第2回 会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会	06
第2回 会員増強に関するアンケート結果・地区会員数月別推移	08
新会員セミナー	13
新会員セミナー 事前「アンケート」結果	15
ぐんま経済新聞掲載企画について	18
年間行事予定表	20
周年行事予定クラブ	22
新会員紹介	23
文庫通信	25
出席報告	26
コラム	27
森田ガバナーエレクトからのお知らせ	32
(森田年度)委員会事業計画協議会	34
ハイライトよねやま	35
ガバナー事務所よりお願い	37

ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2018-2019年度ガバナー
宮内 敦夫

RI特別月間テーマ：「水と衛生」

2月にはIMは3分区で開催されました。各分区とも、多数の方が参加され、ガバナー補佐を中心に充実した構成内容のミーティングが持たれ、後段は和気藹々の懇親会でクラブを超えた親睦を深められました。分区のロータリアンが一堂に会してロータリーを語り合い、懇親を深める機会を持つことを目的とするIntercity Meetingは大変意義あるものと実感しました。3月は4分区でIMが開催されます。各クラブから多くの会員が参加され、思い出に残る意義あるIMになることを期待します。

今月の特別月間テーマは「水と衛生」です。ロータリー財団の6つの重点分野「1. 平和と紛争防止/紛争解決 2. 疾病予防と治療 3. 水と衛生 4. 母子の健康 5. 基本的教育と識字率向 6. 経済と地域社会の発展」の一つです。

「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」というロータリーの使命の中でも「水と衛生」は人間の生命維持に関わる根本的且つ重要な条件です。

「水と衛生」とは、飲料水と汚水処理—生活の基盤を指します。子供の手洗いの励行なども含まれます。世界で安全な水を飲んでいる人は10%と言われます。毎日、800人もの子供が、汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落としています。水道水が飲める国は、日本を含め15カ国程度だそうです。水道があってもほとんどの国や地域は安全ではないのです。日本では、江戸時代(120年前)に神田上水や玉川上水などの水道整備をしたので、江戸の一部の地域では水道水が使えました。日本の水道普及率は昭和32年41%、平成23年には97.5%だそうです。私の寺の過去帳を見ますと、井戸水を飲んでいて戦前は、赤痢・疫痢で家内あるいは近所で一時に何人も子供が亡くなった記録があります。外国では子供が一山超えて水くみに行かなければならず、満足に学校に行けない、という話も聞いています。

2840地区では、国際奉仕事業として多くのクラブが水と衛生に関する事業をしてきました。私の所属する館林RCでも、2009年(小暮雅丈地区幹事が会長の時)にフィリピンのセブ島の住宅地・学校で井戸掘り事業をしました。その時購入した井戸掘機を使って、今でも現地のクラブは井戸掘りをしています。それが切っ掛けで、相手クラブと姉妹提携をし、いろいろな事業をしております。

井戸、水道、浄水、下水処理、トイレなどの衛生設備で援助を求めている所は多数あります。地区のグローバル資金を使って奉仕事業を立案されることをお勧めいたします。

米山記念奨学生選考会

開催日：平成31年1月19日(土)
場 所：前橋問屋センター会館
報告者：地区副幹事 小池 敏郎

今年も問屋センター会館2階に、留学生たちが緊張した面持ちで次々と到着し控室で順番を待つ。米山奨学生を目指す32名の挑戦だ。厳選の結果16名の新しい奨学生が誕生する。選考委員は1組 4人で3組に分かれ、1人15分~20分の選考が始まる。留学生は面接官からの質問に慣れない日本語で一生懸命アピールし、面接官は言葉一つひとつ聞き洩らさないよう真剣に向き合う。面接が終わると少しほっとした表情で会場を去ってゆく。4月になると新しい米山奨学生が誕生し、その後各RCでカウンセラーが付き会員との絆も深まり、国際社会の懸け橋となって活躍されるでしょう。来年の奨学生枠は25名で、継続奨学生は9名です。



第1回 地区補助金予備審査会

開催日：平成31年1月19日(土)

場 所：前橋商工会議所

報告者：地区副幹事 関口 昇

1月19日(土)前橋商工会議所において、第1回地区補助金予備審査会が開催されました。

まず初めに、2018-19年度実施の地区補助金報告書の審査が行われました。15件の審査を行い、条件付きを含めた13件が受理されました。また2件に関しましては資料の再提出となり、補助金報告書の審査は終了いたしました。

続いて2019-20年度に実施されます地区補助金事業43件が審査されました。慎重な審査がなされ、各クラブに対して、次回の審査会までに資料の不備など不足事項を補うよう指示が出されました。審査の進行につきましては、WEB申請になった為、スムーズになりました。

次回、第2回地区補助金予備審査会は 2019年3月23日(土)に前橋商工会議所で開催される予定です。



洪澤 誠 資金管理委員長 山田 利和 補助金委員長

板垣 忍 財団委員長 今井 幸吉 地区補助金委員長

板垣 忍 ロータリー財団委員長 総評



審査風景 全体

第6回 青少年交換委員会

開催日：平成31年1月20日(日) 12:00～13:15
場 所：前橋問屋センター会館「サロンD」
報告者：地区副幹事 後藤 英世

第6回青少年交換委員会が、青少年交換委員会メンバー8名、ROTEX3名(土田 弦太・柴崎 葵衣・飯塚 もも子)の出席者で開催されました。
内容は下記次第の通りです。

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度

第6回 青少年交換委員会次第

2019年1月20日(日)12:00～13:15
前橋問屋センター会館「サロンD」

- | | | | |
|---|------|------|--------|
| | 司会進行 | 副委員長 | 吉井 宏文 |
| 1. 開会 | | 委員 | 山中 のり子 |
| 2. 委員長挨拶 | | 委員長 | 原 敬 |
| 3. ROTEX挨拶 | | 会長 | 壘 友理 |
| 4. 交換学生の状況について(派遣・受入) | | 委員長 | 原 敬 |
| 5. 本日のオリエンテーションについて | | 委員長 | 原 敬 |
| 1) 交換相手地区について | | | |
| 2) アプリケーション(申請書類)の確認について | | | |
| 3) ROTEXからの経験談・アドバイス | | | |
| 6. 今後の行事予定について | | 委員長 | 原 敬 |
| 1) 派遣候補生第3回オリエンテーション(安中市「学習の森」) 2月16日(土)～17日(日) | | | |
| 2) 関西方面研修旅行(京都・大阪) 3月21日(木/祝)～24日(日) | | | |
| 3) 第1回ホストクラブオリエンテーション / 派遣候補生第4回オリエンテーション
(前橋問屋センター会館) 4月14日(日) | | | |
| 4) 日本青少年交換研究会金沢会議(金沢市) 5月25日(土)～26日(日) | | | |
| 5) 2018-19長期受入入学生歓送会 並びに 2019-2020短期・長期派遣学生壮行会
/ 第2回ホストクラブオリエンテーション・派遣学生最終オリエンテーション
(前橋問屋センター会館) 6月16日(日) | | | |
| 7. その他 | | | |
| 8. 閉会 | | 副委員長 | 服部 忠夫 |

青少年交換プログラム派遣候補生 第2回 オリエンテーション

開催日：平成31年1月20日(日) 13:30～16:00

場 所：前橋問屋センター会館「春の間」

報告者：地区副幹事 後藤 英世

表題の第2回オリエンテーションが派遣候補生3名に行われました。
ROTEXの方より、マンツーマンでレクチャーされていましたし、派遣候補生も真剣に取り組んでおりました。
内容は下記次第の通りです。

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度

「青少年交換プログラム派遣候補生第2回オリエンテーション」次第

2019年1月20日(日)13:30～16:00

前橋問屋センター会館「春の間」

青少年交換委員会

司会進行 委員 荒木 千津子

副委員長 服部 忠夫

委員長 原 敬

ROTEX 上田 弦太

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. ROTEX挨拶

4. オリエンテーション

1) 派遣予定地区発表

2) アプリケーションの確認、スキャナー取り込み、郵送宛先記入

3) 予防接種について

4) 英文スピーチ準備状況の確認

5) YESSについて

6) TOEFL受験について

7) ROTEXからの経験談・アドバイス

5. 今後の予定について

副委員長 吉井 宏文

1) 行事予定一覧表

2) 2月16(土)～17(日) 宿泊オリエンテーション

3) 5月25(土)～26(日) 日本青少年交換研究会金沢会議

7. その他

6. その他質疑応答

7. 閉会

委員 樋口 哲雄

第2回 会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会

開催日：平成31年1月26日(土) 13:00～16:00

場 所：前橋問屋センター会館

報告者：地区副幹事 後藤 英世



標記の合同委員会が開催されました。

女性ネットワーク委員会関係では

現在、女性会員は156名との報告の後、様々な意見が出されました。

・女性会員として何が出来るか？・女性会員は前向きな方が多い・今後は外国人の女性会員の獲得も目指す・他クラブの個人女性会員との合同交流会「セミナー」「食事会」をする・4月頃女子会の実施

・12月に女子会を実施参加12名、各種イベント開催に参加する事により退会を回避した(旅行、相撲観戦、音楽鑑賞、女子ゴルフ会)

・楽しい例会、新入会員との出会い、色々なイベントの企画により女性会員の獲得
女性会員「セミナー・研修会」の実施 5月18日(土) 前橋商工会議所

会員組織強化委員会関係では

今年度、半期を振り返り、今後の活動に向けた現状分析がされ、6月・12月には退会者が多く出るので、退会防止と会員増強に一層努力を要する。

・現状では会員獲得が厳しい・如何にしたら会員の獲得に繋がるのか・今後のガバナー補佐に活躍を期待している・アンケートを参考にして・各クラブの会長・幹事・会員組織強化担当及びクラブ研修リーダー等を中心とした会員獲得を実施する・ロータリーを理解し、ロータリーを楽しくして、結果として新規会員の入会に繋げる・退会理由の分析(退会防止)

・他のクラブへメイクし、他のクラブを知り自分のクラブとの違いを理解・分析する

<委員会からのお願い>

1月26日開催の会員組織強化委員会と女性ネットワーク委員会の合同会議で、12月末日での今年度上半期の各クラブ会員数の状況を報告し、協議しました。会員数の現状は下記のとおりです。

2018年7月1日 2113名、2018年12月31日 2131名(女性156名)、純増18名
12月末だけで23名の退会者がありました。退会者は6月末には12月以上に多いものと覚悟しなければなりません。

現状を鑑み、残る5か月で各クラブとも自クラブの増強目標を達成するべく、クラブ挙げて会員増強に一段のご尽力をお願いします。

次 第

日 時 2019年1月26日(土)13:00~16:00
 会 場 前橋問屋センター会館
 司 会 地区副幹事 浦野 隆

12:00~13:00	登録受付・昼食		
13:00~13:20	挨拶	ガバナー	宮内 敦夫
	挨拶	会員組織強化委員長	田中 久夫
	挨拶	会員組織強化アドバイザー	安藤 震太郎
	挨拶	女性ネットワークアドバイザー	疋田 博之
	挨拶	女性ネットワーク委員長	阿部 豊子
13:20~13:50	アンケート分析	会員組織強化委員長	田中 久夫
13:50~14:30	分区現況報告	第1分区 ガバナー補佐	中島 博
		2分区A "	瀬谷 源
		4分区A "	金谷 光明
		4分区B "	土屋 孝夫
		6分区 "	静 朋人
		(欠席分区のアンケート発表 担当副幹事)	
14:30~14:40	休憩		
14:40~15:00	女性会員獲得について	女性ネットワーク委員長	阿部 豊子
		女性ネットワーク委員	中澤 洋子
		女性ネットワーク委員	高橋 淳子
		女性ネットワーク委員	橋本 文華
		女性ネットワーク委員	豊野 はるみ
		女性ネットワーク委員	布施 千夏
15:00~15:25	出席者意見交換		出席者全員
15:25~15:40	委員長まとめ	会員組織強化委員長	田中 久夫
		女性ネットワーク委員長	阿部 豊子
15:40~16:00	ガバナー総括	ガバナー	宮内 敦夫
16:00	閉 会	地区幹事	小暮 雅丈



第2回 会員増強に関するアンケート結果 ・地区会員数月別推移

第2840地区「2018-2019年度 第2回 会員増強に関するアンケート」

各クラブの会長の皆様、皆様の年度の上半期が終わります。下半期に向けて新たな目標づくりが必要です。

以下の設問に対し、ご回答をお寄せください。

1. 1-1 第1回アンケートの際にあなたが掲げた
貴クラブにおける今年度の会員純増の目標数は? () 人
- 1-2 上半期における実際の純増数は? () 人
2. 2-1 第1回アンケートの際にあなたが掲げた貴クラブの
1. に含まれる女性会員の純増目標数は? () 人
- 2-2 上半期における実際の女性純増数は? () 人
3. 1-1及び2-1を達成するために下半期に実施しようと思う手段・方法とは?(複数回答可)

- ・会員への情報提供の依頼 (12)
- ・増強委員長を中心に月に一度進捗会議を行う (8)
- ・新会員、女性会員を通しての拡大 (7)
- ・声掛け運動並びに達成リスト (5)
- ・個別訪問 (4)
- ・会員候補者に体験例会などへの参加を促す (3)
- ・現在入会見込みの方に再度声掛け (3)
- ・例会及び各行事により多く参加し、皆で楽しく活動ができること (3)
- ・各団体(青年会議所、商工会議所青年部)の例会・会議に参加して入会を勧める (2)
- ・業種別会員名簿よりロータリー未加入者にテレアポして勧誘活動を行う (2)
- ・会員一人一人が必ず一人を推薦する (2)
- ・全会員の一致協力を求める (2)
- ・会員のリスト作成 (2)
- ・拡大全体会議における拾い上げ全員候補者に対するアプローチ (2)
- ・自クラブの現状を知ってもらうため、イベントの手伝い、年会費について話す (2)
- ・各委員会から1名以上の推薦を出してもらう
- ・退会防止
- ・高齢を理由に退会した方のご子息、ご息女の入会を促す
- ・女性経営者を探したり紹介してもらう
- ・職業分類の見直し
- ・積極的に知り合いを誘う
- ・趣味の部会でプレゼンテーション例会へ、新会員候補者にも参加促進
- ・純増という意味では「メンター制(ロータリーの理解をサポートするための役割をベテランに託す)」の活用
- ・自クラブの地元の広報活動
- ・女性ネットワーク委員長さんへの卓話依頼

- ・入会1年未満の会員を役員指定テーブルに入ってもらい、ロータリーの理解を深めるとともに新会員の紹介を促す
- ・若い会員でも聞きたくなるような卓話を設ける
- ・理事・役員等に目標達成のため協力依頼
- ・ロータリアンとしてふさわしい人物を候補者として選考し勧誘
- ・若い方からの新会員の発掘
- ・自クラブがどのような活動をしているか資料の作成

**4. 上半期において、新会員にクラブ・ライフが楽しいと思わせるために行った施策は？
(複数回答可)**

- ・家族例会（11）
- ・夜間例会を多く開催（8）
- ・クラブ(ゴルフ・野球活動等)への参加継続（6）
- ・卓話(外部卓話含む)（5）
- ・親睦委員会の活性化（4）
- ・新会員セミナーの実施（4）
- ・奉仕事業への参加勧誘（3）
- ・ロータリーを知ってもらうための勉強会の実施（2）
- ・例会等で挨拶から始まる会話の機会を多く作るようにした（3）
- ・職場訪問（2）
- ・会長の時間の話を趣味等の話を交えておこなった
- ・握手・ハグタイム
- ・対話
- ・新会員体験例会
- ・他地区のクラブへのメイクアップ
- ・例会食事のグレードアップ
- ・新会員のお店(飲食店)にみんなでバスで訪問し会食
- ・インターアクトとの共同活動
- ・交通安全マスコットづくり
- ・歳末助け合い募金
- ・メンターの設置
- ・親睦委員会に新会員に配置し楽しく過ごせるように意識した
- ・少年サッカー大会の参加
- ・入会5年未満の会員と新会員の意見交換及び懇親会
- ・楽しい企画・運営により、次回からも参加したい気持ちづくりに努めた
- ・合同例会を実施し他クラブとの交流・親睦を深めた
- ・地域のお祭りでボランティアとして参加
- ・周年行事で多くの達成感を味わってもらった
- ・研修旅行
- ・他クラブへ全員でメイクに行った
- ・地元のボランティア団体とミニライブを開催
- ・地元地域のイベント、地区大会等通常例会とは異なったロータリーの世界を味わってもらう
- ・例会の内容を変えた

**5. 下半期において、新会員にクラブ・ライフが楽しいと思わせるために行いたい施策は？
(複数回答可)**

- ・クラブ指導者育成セミナーを計画 (4)
- ・家族（特に奥様）も一緒に楽しめる場を多く持ちたい (4)
- ・友好・他ロータリークラブに交流・全会員で訪問する (4)
- ・新会員歓迎会 (3)
- ・例会の充実 (3)
- ・いろいろなイベントを開催して歓迎と親睦を図る (3)
- ・クラブ行事に積極的に参加してもらおう (3)
- ・宿泊が伴う例会に積極的に参加してもらおう (3)
- ・入会3年未満の会員と新会員の意見交換会及び懇親会 (2)
- ・外部卓話 (2)
- ・新たな部会を発足し、クラブの活性化を図る (2)
- ・他クラブへのメイク (2)
- ・入会3年以内を中心とした若手会員による親睦飲み会を定期的に開催
- ・ハイタッチ
- ・体験例会の企画
- ・親睦担当を若手代表とベテラン代表で2名配置し、それぞれ相応しい催し物を企画
- ・メンター制では新会員に1名ずつ担当がいるため、複数のペアでメイクや懇親会を予定
- ・自クラブで後援し飾りつけをした渡良瀬渓谷鉄道イルミネーションツアーの実施
- ・自クラブで後援している桐生市バンドフェスティバルの応援
- ・昼呑み例会の開催
- ・新会員と増強委員長との意見交換会
- ・職場訪問
- ・行事のお手伝いに積極的に関わってもらおう
- ・楽しく例会ができるように理事会を基に会員自らが思考しアイデアを加えて実践する
- ・積極的な声掛け
- ・新会員に役をつけ、参加意識をもってもらおう

6. 上半期において、退会防止のために有効だと思って行った施策は？ (複数回答可)

- ・常に会員とのコミュニケーションを図った (7)
- ・例会を楽しいものにしていく (5)
- ・クラブ活動参加の呼びかけ (5)
- ・出席率の低い会員に積極的に連絡をとった (3)
- ・メンター制への導入 (3)
- ・夜間例会 (3)
- ・奉仕事業の参加 (2)
- ・例会で席をくじにして毎回違う会員と食事をとってもらった (2)
- ・過去3年未満入会者へのオリエンテーション実施
- ・新会員の飲食店に行った
- ・情報を会長・幹事が共有する
- ・クラブ情報の定期的な配信
- ・移動例会
- ・例会時にガバナー月信の回覧

- ・ 民主的で楽しく充実した行事・事業を行った
- ・ 理事会・各委員会を充実させ代さんの有効活用し活動した
- ・ 会長、パスト会長、会員増強委員長を含め本人との面談を行い退会を思い留まってもらった
- ・ 新会員に委員長になってもらい、理事会・例会の中で発言してもらった

7. 下半期において、退会防止のために有効だと思って行いたい施策は？(複数回答可)

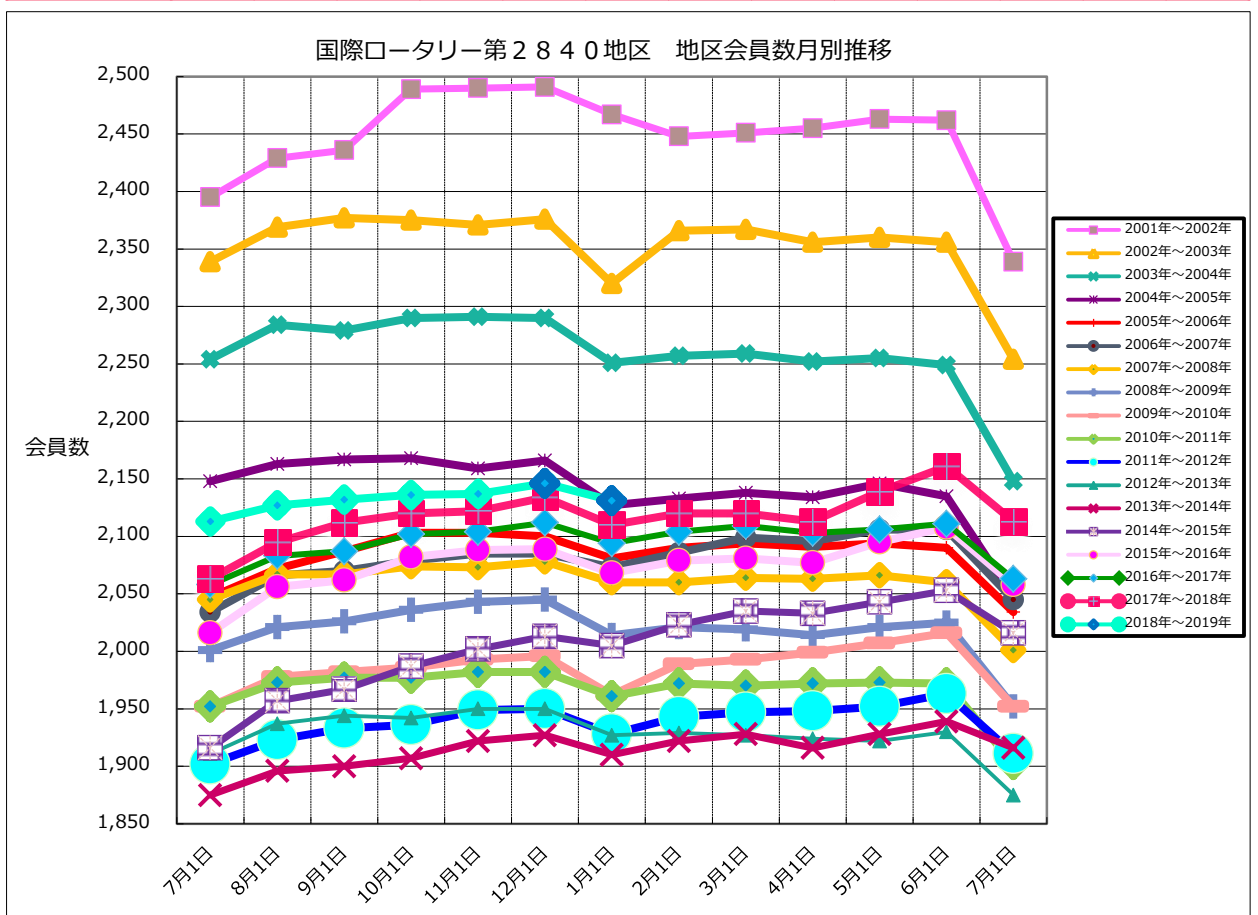
- ・ 例会出席が滞りがちな会員に出席奨励委員会がまめに声をかける (7)
- ・ 懇親会の開催 (4)
- ・ 例会を楽しくする (4)
- ・ 趣味の部会の活発化 (3)
- ・ 例会出席をただ強要するのではなく、メイクなど多様な方法を紹介 (2)
- ・ 委員会活動の活発化 (2)
- ・ 会員とのコミュニケーション (2)
- ・ 夜間例会で酒席の機会の活用 (2)
- ・ 出番を作る
- ・ 例会出席をただ強要するのではなく、メイクなど多様な方法を紹介 (2)
- ・ メンター制の充実(メンター研修など)
- ・ 家族例会の実施
- ・ 地区行事のホストクラブとして準備を全員で行い共同作業を通じて親交を深める
- ・ ロータリーをより理解してもらう
- ・ 退会希望者には直接連絡をとり理由をきき改善策がないか検討
- ・ 会長・幹事が退会防止のため行動する
- ・ クラブ情報の定期的な配信
- ・ 上期に6名の退会者が出てしまったので有効な施策が見当たらない
- ・ RC活動が過度の負担にならないように配慮する
- ・ 意義ある奉仕活動
- ・ 会員少数なので、会員1人1人に退会のないよう目標を作って発表してもらう
- ・ 多くの会員に発言の機会をつくり、ミニ卓話をしてもらう
- ・ 仲間意識を持って行動していく



国際ロータリー第2840地区 地区会員数

2019年1月26日現在

	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	1月1日	2月1日	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日
2001年～2002年	2,395	2,429	2,436	2,489	2,490	2,491	2,467	2,448	2,451	2,455	2,463	2,462	2,339
2002年～2003年	2,339	2,369	2,377	2,375	2,371	2,376	2,320	2,366	2,367	2,356	2,360	2,356	2,254
2003年～2004年	2,254	2,284	2,279	2,290	2,291	2,290	2,251	2,257	2,259	2,252	2,255	2,249	2,148
2004年～2005年	2,148	2,163	2,167	2,168	2,159	2,166	2,127	2,133	2,138	2,134	2,146	2,135	2,047
2005年～2006年	2,047	2,072	2,087	2,103	2,103	2,100	2,081	2,090	2,094	2,091	2,094	2,090	2,034
2006年～2007年	2,034	2,066	2,070	2,079	2,085	2,085	2,073	2,086	2,099	2,096	2,106	2,106	2,045
2007年～2008年	2,045	2,067	2,067	2,074	2,073	2,078	2,060	2,060	2,064	2,063	2,066	2,060	2,001
2008年～2009年	2,001	2,021	2,026	2,036	2,043	2,045	2,014	2,021	2,019	2,014	2,021	2,025	1,952
2009年～2010年	1,952	1,978	1,982	1,986	1,993	1,996	1,962	1,989	1,993	1,999	2,007	2,016	1,952
2010年～2011年	1,952	1,973	1,977	1,977	1,982	1,982	1,961	1,972	1,970	1,972	1,973	1,972	1,902
2011年～2012年	1,902	1,923	1,933	1,936	1,949	1,950	1,928	1,943	1,947	1,948	1,952	1,963	1,911
2012年～2013年	1,911	1,937	1,944	1,942	1,950	1,950	1,927	1,929	1,927	1,924	1,922	1,930	1,875
2013年～2014年	1,875	1,896	1,900	1,907	1,922	1,927	1,910	1,922	1,928	1,916	1,928	1,939	1,916
2014年～2015年	1,916	1,957	1,967	1,987	2,002	2,013	2,005	2,023	2,035	2,033	2,043	2,053	2,016
2015年～2016年	2,016	2,056	2,062	2,082	2,088	2,089	2,068	2,079	2,081	2,077	2,095	2,108	2,058
2016年～2017年	2,058	2,083	2,087	2,102	2,104	2,112	2,094	2,104	2,109	2,103	2,106	2,111	2,063
2017年～2018年	2,063	2,095	2,112	2,120	2,122	2,134	2,110	2,120	2,120	2,113	2,139	2,161	2,113
2018年～2019年	2,113	2,127	2,132	2,136	2,137	2,146	2,131						



新会員セミナー

開催日：平成31年2月11日(月) 14:00～18:00

場 所：前橋問屋センター会館

報告者：地区副幹事 本島 克幸

14:00	挨拶	司会 地区副幹事 ガバナー パストガバナー・地区研修リーダー	谷田川 敏幸 宮内 敦夫 竹内 正幸
14:10	講演「ロータリーの基本」	パストガバナー・RLI推進委員会アドバイザー本田 博己	
15:20	事前アンケート結果分析	直前ガバナー・会員組織強化委員長	田中 久夫
15:50	分科会(RLI方式 第1～第6分科会)	司会 地区副幹事	山本 樹
17:10	閉会式・名刺交換会 挨拶 講評 乾杯挨拶 分科会報告	ガバナー パストガバナー・地区研修リーダー パストガバナー・RLI推進委員会アドバイザー本田 博己	宮内敦夫 竹内 正幸 本田 博己 各分科会代表者
18:00	閉会挨拶	直前ガバナー・会員組織強化委員長	田中 久夫

新会員セミナーの受講者 地区内39クラブ140名の新会員と地区役員他総勢180名あまりの方が集まりセミナーが開催されました。講演では「ロータリーの基本」と題しまして本田 博己パストガバナーによりプロジェクターを使用してロータリーの基本となる歴史や用語の意味などロータリーの根幹となる講話をいただきました。田中 久夫会員組織強化委員長には事前アンケートの結果をさらにかみ砕いての話をプロジェクターを使ってお話いただきました。時間の都合上、最後の所は月報での報告とするとのことでした。

その後、6つの分科会に別れそれぞれのディスカッションリーダーの元、新会員のための分科会が進行され、新会員からの活発な意見が飛び交いました。

分科会終了後閉会となりました。その後、名刺交換会を含む懇談会が行われ、宮内ガバナーの挨拶の中でも「一人50枚以上の名刺交換を」とのお言葉もあり、新会員同士の交流も盛んに行われ、各分科会の発表がなされ、和やかなうちに閉会となりました。





第1分科会



第2分科会



第3分科会



第4分科会



第5分科会



第6分科会



新会員セミナー 事前「アンケート」結果

2018-2019年度 第2840地区

新会員セミナー 事前「アンケート」結果

(総回答数 234人 男性 199人・女性 35人)

直前ガバナー・会員組織強化委員長 田中 久夫(高崎RC)

2019.2.11 前橋問屋センター



●新会員セミナー 事前「アンケート」の内容

1. RC入会の理由(何を期待して)は？
2. 今のクラブを選んだ理由は？
3. 入会前に抱いていたRCのイメージ？
4. 入会後に感じたRCの印象は？
5. 今のRCで満足していることは？
6. 今のRCで不満に思うことは？
7. 今のRCはどうすれば良くなると思いますか？



1. RC入会の理由(何を期待して)は？

- 1 先輩、友人からの紹介 (108人)
- 2 人脈形成に役立つ (69人)
- 3 会社からの推薦 (41人)
- 4 異業種の方々との交流ができる (14人)
- 5 世の為、人の為、何をしている団体なのか興味があった (1人)
- 6 奉仕活動をしたかった (1人)

2. 今のクラブを選んだ理由は？

- 1 知人、先輩、友人がいるから (183人)
- 2 会社からの紹介、仕事上の繋がり (36人)
- 3 歴史と伝統がある (13人)
- 4 身内が以前、入会していたから (2人)
- 5 他のクラブに比べて年齢層が比較的若かったから (1人)

3. 入会前に抱いていたRCのイメージ？

- 1 会合の回数が多い (81人)
- 2 金銭的負担が多い (75人)
- 3 年齢層が高い (63人)
- 4 歴史と伝統を感じる、硬いイメージ (14人)
- 5 金持ち、企業のトップの交流、親睦の場 (4人)
- 6 昼間に時間を取られそう (1人)

4. 入会後に感じたRCの印象は？

- 1 想像していたよりフレンドリー (135人)
- 2 年齢、世代間の考え方の違いを感じる (47人)
- 3 例会日、時間にも慣れて、知人が増えた (19人)
- 4 奉仕活動を通して視野が広がった (14人)
- 5 ロータリーの卓話、会員による卓話が参考になる (3人)
- 6 年配の方々が、お元気で、積極的に参加されている (1人)
- 7 異業種交流会のような感じ (1人)
- 8 まだよく分からないが、意外に楽しそう (1人)
- 9 特にない (14人)

5. 今のRCで満足していることは？

- 1 異業種の方々と出会えた (115人)
- 2 人脈が広がった、友人ができた (仕事以外の方々を含めて) (91人)
- 3 奉仕活動ができた、活動を通じて地域を知ることができた (13人)
- 4 特にない (16人)

6. 今のRCで不満に思うことは？

- 1 会合が多いし、金銭的負担も多い (78人)
- 2 例会が昼間で出席が難しい (71人)
- 3 若い会員が少ない (51人)
- 4 女性会員が少ない (7人)
- 5 会員数の割に活動する方が少ない (6人)
- 6 例会のマンネリ (5人)
- 7 派閥が有り会議に出ずらい、嫌気を感じる (3人)
- 8 意見交換の際に、感情のぶつけ合いになる事がある (1人)
- 9 特にない (12人)

7. 今のRCはどうすれば良くなると思いますか？

- 1 夜間例会を増やし会合の回数を見直す (97人)
- 2 金銭的負担を少なくすれば会員は増える (59人)
- 3 若い会員を増やし活性化させる (50人)
- 4 地域社会にもっとアピール (12人)
- 5 会員増強にこだわりすぎ (6人)
- 6 派閥がある限り良くなる (3人)
- 7 会員同士、尊重しあいながら、仲良く、協力すること (1人)
- 8 特にない (7人)

●以上をまとめると、新会員の「標準的モデル」は以下の通りになります。

- 1 RCへの入会のキッカケは知人や取引先から勧誘されたから、
- 2 入会前は地元の有力者やお金持ちの集まりで敷居が高いところだと思っていたが、
- 3 入ってみると楽しいし、皆が仲良く接してくれるので、
- 4 多くの友人・知人が出来た、また異業種の仲間も広がった、
- 5 でも、若手の会員や女性会員は少ないし、会費やそれ以外の金銭的負担も重い、
- 6 今後は、例会の回数を見直したり夜間例会を開いたりして、若い会員を増やし、ロータリーの広報の充実、活動をアピールすることが必要だと思う。

●いま、ロータリーへの入会を後悔している「あなた」はいますか？

まずは、入会后、3年間は黙ってロータリー行事に付き合ってください。
ロータリーの真髓を知ってから継続・退会を判断しましょう。
どうしても自分に合わないときは、会長・幹事・紹介者にご相談ください。
あなたがクラブに必要な人であることをキチンと説明してくれます。
いや、あなたの人生にとって、ロータリーが必要であることを教えてくれます。

●おしまい

私がガバナーであった時、多くのロータリアンに次のような質問を投げかけました。

「あなたの人生に最も良い影響を与えたと思われるものは何ですか？
3つだけ（家族・仕事を除く）挙げてください。」

少し時間をあげますから、この質問を考えてみてください。

・
・
・
・

私の答えは、1 酒、2 ゴルフ、3 ロータリー です。
人生40～50歳代くらいまでは、学問や仕事が自分のアイデンティティーを作ってくれました。
その後は、ロータリーが人生最後の友人達を作ってくれ、生活や仕事に華やかな彩りを添えてくれている実感を持っています。
ロータリーを活用して、第二の人生を楽しみましょう。
ロータリーを辞めるのは簡単です。でも、きっと寂しくなると思います。
お金では買えない価値、自分にとって大切なものを人生に残しましょう。

●ロータリーで何を学ぶのか？ それは、人生の目的に符号するのかわ？

「人生の目的」とは？

宗教家に言わせると・・・

- ・新渡戸稲造、内村鑑三(クリスチャン)は・・・
→ それは、「品格の完成」だと言ってます。
- ・知り合いの坊主(高崎観音の住職)は・・・
→ それは、「心を磨くこと」だと言いました。

●ロータリアンに求められる「真の品格」とは？

→ "noblesse oblige"

(地位ある者が果たすべき義務) or (位高ければ徳高きを要す)

●そして、本当に「品格のある人」とは？

- ・あなたのクラブには、それに相応しい先輩・人格者はいませんか？
- ・ロータリーでその答えを見つけてみませんか。
- ・あなたも、誰もが憧れるロータリアンになってみませんか。

ぐんま経済新聞掲載企画について

ガバナー 宮内 敦夫
公共イメージ委員長 槻岡 行支

拝啓 早春の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、先般各クラブへお知らせ及びご依頼をさせて頂きましたが、本年度も群馬経済新聞様のご協力を頂き、前年度に引き続き、ぐんま経済新聞に毎週、地区内45クラブのクラブ紹介を掲載させて頂きます。


掲載要項と掲載予定を再度お知らせさせて頂きますので、ご確認下さいますようお願いいたします。

尚、本年度は月信の紙面上で掲載面のご紹介ができませんので、掲載面は毎週木曜日発行の「ぐんま経済新聞」でご確認頂けますようお願いいたします。

敬具

【クラブ紹介記事 要項】

1. 木曜日発行の「ぐんま経済新聞」にて、国際ロータリー第2840地区の45クラブのクラブ紹介を毎週1クラブずつ行う。
2. 記載項目
 - クラブ紹介(クラブの特徴やトピックス)
 - クラブ会長挨拶
 - クラブ概要(会長・幹事名、事務局所在地、例会情報など)上記項目を600字程度で記述のこと
3. 会長顔写真を掲載
4. フォーマットは下記の通り

	国際ロータリー第2840地区〈群馬〉
	○○○ロータリークラブ
■ 会長あいさつ	■ クラブ紹介
.....	○○会長

記事掲載企画

記事内容：クラブの紹介

原稿(会長の写真を添えて)の提出先：ぐんま経済新聞社 小曾根 要人 様

seisaku@gunkei.com まで

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切り日 (厳守)
第1分区	前橋	2/7	1/24
	前橋西	2/14	
	前橋東	2/21	
	前橋北	2/28	
	前橋南	3/7	
	前橋中央	3/14	
第6分区	富岡	3/21	3/7
	藤岡	3/28	
	安中	4/4	
	藤岡北	4/11	
	富岡中央	4/18	
	碓氷安中	4/25	
	藤岡南	5/2	
	富岡かぶら	5/9	
第5分区	渋川	5/16	4/18
	沼田	5/23	
	草津	5/30	
	中之条	6/6	
	沼田中央	6/13	
	渋川みどり	6/20	

年間行事予定表

開催日		項目	場所	
2019年	『平和と紛争予防／紛争解決月間』			
	2月	2日（土）	（森田年度）委員会事業計画協議会 （グループ毎）	伊勢崎プリオパレス
		3日（日）	IM（第2分区B）	伊勢崎プリオパレス
		9日（土）	IM（第6分区）	並木苑
		11日（月）	新会員セミナー	前橋問屋センター会館
		16日（土）	第4回ガバナー諮問委員会・ GE（森田）報告	伊勢崎プリオパレス
		16日（土）	（森田年度）地区チーム研修セミナー	伊勢崎プリオパレス
		23日（土）	ローターアクト年次大会	ホテルグランビュウ高崎
		23日（土）	IM（第3分区）	ホテルグランビュウ高崎
	『水と衛生月間』			
	3月	2日（土）	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルメトロポリタン高崎
		3日（日）	IM（第5分区）	プレヴェール渋川
		9日（土）	IM（第4分区A・B）	レストランジョイハウス
		16～17日 （土）（日）	会長エレクト・幹事エレクトセミナー （PETS・SETS）	伊香保 福一
		23日（土）	第2回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所
30日（土）		IM（第1分区）	前橋商工会議所	
28～31日		IA海外研修	台湾	
31日（日）		IM（第2分区A）	桐生プリオパレス	

『母子の健康月間』

4月	13日（土）	（森田年度）第2回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	13日（土）	（森田年度）第2回ガバナー補佐・ 委員長合同会議	伊勢崎プリオパレス
	14日（日）	青少年交換ホストクラブ 第1回オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	14～18日	規定審議会	シカゴ
	20日（土）	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所
	21日（日）	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	21日（日）	新規米山記念奨学生カウンセラー・ 奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	21日（日）	継続米山記念奨学生 資格審査面談	前橋問屋センター会館

『青少年奉仕月間』

5月	10～11日	IA海外研修受け入れ	中央情報経理専門学校
	12日（日）	地区研修・協議会	境総合文化センター 伊勢崎プリオパレス

『ロータリー親睦活動月間』

6月	1～5日	国際大会	ドイツ・ハンブルク
	8日（土）	米山記念奨学生指定校選定会議	ホテルメトロポリタン高崎
	8日（土）	米山学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎
	15日（土）	第5回ガバナー諮問委員会	館林市文化会館
	15日（土）	現・新地区役員合同連絡会議	館林市文化会館
	16日（日）	青少年交換受入学生歓迎会・ 夏期交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館
	22日（土）	（森田年度）第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	22日（土）	（森田年度）会員増強セミナー	伊勢崎プリオパレス

周年行事予定クラブ

開催日		項目	場所	
2019年	3月	23日(土)	前橋中央ロータリークラブ 25周年記念式典	ロイヤルチェスター前橋
		25日(月)	高崎ロータリークラブ 65周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
	4月	6日(土)	高崎セントラルロータリークラブ 20周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
		20日(土)	館林東ロータリークラブ 35周年記念式典	レストラン ジョイハウス
		23日(火)	渋川みどりロータリークラブ 25周年記念式典	プレヴェール渋川
	5月	19日(日)	沼田ロータリークラブ 60周年記念式典	ホテル ベラヴィータ
			前橋西ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
	未定		藤岡ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
未定		伊勢崎東ロータリークラブ 25周年記念式典	未定	

新会員紹介



氏名 植木 信行
クラブ 前橋西
入会日 2019年01月11日
職業分類 不動産業
勤務先 (株)ニュー
サンライフ
役職 代表取締役
推薦者 中島 資浩



氏名 豊岡 均
クラブ 前橋中央
入会日 2019年02月06日
職業分類 広告代理業
勤務先 有限会社広告社
役職 代表取締役社長
推薦者 井上 芙美子



氏名 藍原 隆史
クラブ 桐生
入会日 2019年02月04日
職業分類 理学療法士
勤務先 (株)ドリーム
役職 代表取締役
推薦者 青木 貴子



氏名 長澤 深幸
クラブ 桐生
入会日 2019年02月04日
職業分類 介護事業
勤務先 株式会社あさひ
役職 代表取締役
推薦者 青木 貴子



氏名 吉野 さゆり
クラブ 桐生
入会日 2019年02月04日
職業分類 エステ業
勤務先 プライベート
ビューティサロン
COCORI
役職 オーナー
推薦者 青木 貴子



氏名 柳田 陽平
クラブ 伊勢崎
入会日 2019年01月09日
職業分類 金属製品塗装
勤務先 (株)ウィルビック
役職 代表取締役
推薦者 多部田 敬三



氏名 松浦 大耕
クラブ 伊勢崎
入会日 2019年02月06日
職業分類 僧侶
勤務先 天増寺
役職 代表役員
推薦者 藤生 政雄
齋藤 公男



氏名 松本 直子
クラブ 伊勢崎中央
入会日 2019年02月07日
職業分類 行政書士
勤務先 まつもと行政書士
事務所
役職 代表
推薦者 小林 正弘
小久保 剛利



氏名 高橋 正樹
クラブ 伊勢崎南
入会日 2019年02月05日
職業分類 ビルサッシ建材
勤務先 共栄
アルミ工業(株)
役職 代表取締役
推薦者 下田 進



氏名 水内 整
クラブ 高崎シンフォニー
入会日 2019年02月01日
職業分類 外科医
勤務先 水内外科内科医院
役職 院長
推薦者 小野垣 義男

新会員紹介



氏名 高田 幸紀
クラブ 高崎セントラル
入会日 2019年02月05日
職業分類 設備工事業
勤務先 八幡総合設備(株)
役職 代表取締役
推薦者 高木 賢治
関口 朋克



氏名 守口 智
クラブ 藤岡
入会日 2019年01月10日
職業分類 金属加工
勤務先 日栄工業(株)
役職 専務取締役
推薦者 小暮 満

文庫通信 (375号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

シエルドン特集

The meaning of the motto(The Business Philosopher 1920年12月号) Arthur Frederick Sheldon シエルドン出版社	1920	8p
モットー「He profits most who Serves best」の真意 アーサー F. シエルドン 著；田中 毅 訳 -	2019	6p
The Gate(The Business Philosopher 1922年11月号) Arthur Frederick Sheldon シエルドン出版社	1922	2P
The Gate 入口 アーサー F. シエルドン 著；田中 毅 訳 -	2019	3p
シエルドンの森を巡る旅 経営学に基づく奉仕理念 田中 毅 源流の会	2017	136p
シエルドンのすべて 田中 毅 -	2019	12p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日
---------	---

出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
45	2112	2131	2131	0	157	79.59

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	68.96	124	122	122	0	11
	前橋西	3	71.75	58	58	59	1	5
	前橋東	4	79.90	51	50	49	-1	5
	前橋北	2	90.00	71	73	74	1	2
	前橋南	3	84.50	44	43	43	0	2
	前橋中央	4	90.63	26	25	25	0	8
	合計		80.96	374	371	372	1	33
第2分区A	桐生	3	73.18	61	66	66	0	9
	桐生南	5	52.35	35	35	35	0	4
	桐生西	3	89.94	63	61	62	1	9
	桐生赤城	4	80.81	42	43	42	-1	8
	合計		74.07	201	205	205	0	30
第2分区B	伊勢崎	4	88.11	84	83	84	1	3
	群馬境	4	80.68	25	26	26	0	2
	伊勢崎中央	4	80.08	85	86	86	0	5
	伊勢崎南	3	73.12	30	31	31	0	1
	伊勢崎東	2	94.23	32	33	33	0	1
	合計		83.24	256	259	260	1	12
第3分区	高崎	4	86.68	130	137	137	0	14
	高崎南	3	70.02	73	74	74	0	9
	高崎北	3	68.29	72	72	72	0	0
	高崎東	4	77.14	42	42	42	0	3
	高崎シンフォニー	3	76.78	43	45	45	0	5
	高崎セントラル	4	95.14	36	37	37	0	0
	合計		79.01	396	407	407	0	31
第4分区A	太田	3	84.89	73	75	75	0	2
	太田西	4	87.97	19	18	18	0	2
	太田南	3	81.88	47	48	48	0	3
	新田	3	84.00	31	25	25	0	2
	太田中央	3	82.72	55	54	54	0	3
	合計		84.29	225	220	220	0	12
	第4分区B	館林	3	85.80	53	54	54	0
大泉		4	79.72	34	34	34	0	3
館林西		4	71.04	21	20	20	0	1
館林東		4	78.09	21	19	19	0	3
館林ミレニアム		4	91.44	27	27	27	0	1
合計		81.22	156	154	154	0	10	
第5分区	渋川	4	91.18	64	63	63	0	6
	沼田	3	73.48	69	72	71	-1	3
	草津	3	47.92	15	16	16	0	2
	中之条	4	89.75	21	20	20	0	1
	沼田中央	4	77.17	45	47	47	0	3
	渋川みどり	3	69.79	36	37	37	0	2
	合計		74.88	250	255	254	-1	17
第6分区	富岡	4	88.75	44	46	46	0	4
	藤岡	3	75.16	52	55	54	-1	2
	安中	4	61.11	53	54	54	0	3
	藤岡北	4	82.16	15	15	15	0	1
	富岡中央	4	87.53	35	35	35	0	1
	碓氷安中	3	76.67	11	10	10	0	0
	藤岡南	2	81.82	13	14	14	0	0
合計		79.06	254	260	259	-1	12	

2019年1月末現在

コラム

コラム〈みんなの広場〉—皆様の投稿をお待ちします—

これから1年間ガバナー月信でお付き合いをお願いしますが、少しは為になる気持ちのほぐれる話を一話ずつこのコラムに書きたいと思います。このコラムにロータリアンの皆さんが投稿してくださり、意見交換の場になればと思います。

私は、英米文学と英語学の教員としてスタートしましたが、後年になると、隣接の学問分野に関心が湧き、異文化理解—日本人と外国人、言語と国民性の相違などを研究しました。僧侶でもありますので、仏教のみならずほかの宗教へも関心があります。

このコラムでは、私の随想〈徒然に思い浮かぶこと〉とはいえ、ロータリー活動に関係のあることを異文化理解・仏教の教えの観点から書かせていただきます。

【第9話】日本と韓国の国民性と文化

日本・韓国・中国の文化と国民性についてその一端を2回に分けて考えてみたいと思います。今回は韓国文化と日本文化に関して書かれている呉善花(おそんふぁ)著「ワサビと唐辛子」(NON BOOK 祥伝社359)は示唆に富む著作でありますので、これを緩用させていただき日本と韓国を比べてみます。

1. 日本人と韓国人の気性—ワサビと唐辛子

ワサビは日本の代表的な香辛料です。唐辛子は韓国の代表的な香辛料です。両者が両国民の国民性の違いを物語ると言えると著者は言います。ワサビは鼻にツーンと来ます。唐辛子は体全体がカーと熱くなります。血液循環の違いにおいて、血液は心臓の方への偏りがあると考えられ、鎮静作用、精神の落ち着きが得られそうです。それ故、物静かな日本人、受け身の態度・表現に表れていると言えます。一方、唐辛子を食べると、血液は頭部への偏りを起し、神経の刺激、興奮状態を起こす。それ故、興奮を好む能動的な韓国人を象徴すると言えるということです。

スポーツの応援において、日本は、「負けるな、頑張れ」と応援し、極まりは、手を合わせて「勝たせて、お願いします」と懇願になりますが、韓国人は「勝て、勝て!! やっちまえ」と能動的、増々熱狂するそうです。

2. 受身形を多用する日本語

言語表現には、能動態(～する)と受動態(～される)があります。日本語の特徴の一つは受動態が多いことです。韓国語や中国語ではこれが少ないのです。もともと韓国語には受動態はなく、日本語の影響だという説もあります。集団指向性の強い日本人は、「個」の主張よりも集団の「和」を重んじることと、個人主義社会が「横型社会」であるのに対して日本社会は「縦型社会」であることはすでに述べてきました。縦型社会では、人間関係を縦関係で起き、自分

と相手の立ち位置を定めます。そこで、年齢・立場・関係の遠近など考慮して言語表現の丁寧さが決まります。丁寧な表現にするためには、相手を上に自分を下に位置づけて表現をします。

受け身形を多用する理由は、対立回避の知恵であり、自分の意志を露わにして、相手と対立することを避けるためなのだと思います。前文で「・・・思います」を「・・・思われます」と言えば、話者の自己主張を抑え、自然にそう思えてくる、思うことができる、という表現になりますので、一種の謙遜表現になります。読者に受け入れやすくなるでしょう。

「あなたにそう言われると辛い」/(日本語)、「あなたがそう言う辛い」(韓国語)、「彼に殴られた」/「彼は私を殴った」、「彼に助けてもらった」/「彼は私を助けた」、「泥棒に入られた」/「泥棒が入った」、「亭主に逃げられた」/「亭主が逃げた」。「～させられた」「～させてください」「～してもらおう」「～してください」「仕方がない」「お陰様で」(謙遜な姿勢)など、日本語では受身表現が多用されます。被害や恩恵感・感謝を表すことが多い。韓国では、「徳澤で、徳澤を得て」と言うことはよくあるが、日本人のように自力否定よりは、自力強調の方が普通だそうです。謙遜しすぎは傲慢に聞こえるのです。

歴史上、アラブや西洋では、自然は厳しいもの、これを克服することが文明の進化でありました。隣国の半島に住む韓国人は、個の主張においては、西洋人と同じところが多いように思えます。一方、自然は母親のように生命を育てくれる絶対的なものとする日本人は、自然の中で生かされている、自然の力には抗すべきではないと感じ、出会いには不思議な縁(宿命的人間関係)を感じるのです。自然環境は能動と受け身の姿勢を産み分ける条件であると思われる。

3. 韓国人から見た日本人

韓国人は、日本人の生活のルールは「融通のきかない原則主義者、堅物の集まり」(集団の和)、価値観は「原則を持たない、yes, noをはっきり言わない、いい加減な態度をとる人たち」(集団重視)という相反する二面性(どちらとも言えない)を持つ国民と見ているようです。日本人に「絶対」はない。韓国人はこの逆です。

西洋社会同様に中国・韓国社会は、イデオロギー社会(正邪、善悪、醜美、上下などの価値判断をはっきり行う)であるのに対して、日本は建て前社会、価値判断は相対的な社会、理念ではなく実際の社会であると見えるようです。「原則として・・・」は規則などにも使われていますが、日本社会では多用されます。環境や状況に従って柔軟に対応しようとする社会なのです。「情勢や流れを見ながら適切に判断したい」(理念不在、御都合主義)。しかし、「非軍事的方法による世界平和の実現、平和主義日本」に関しては理念主義であると受け取られているようです。

4. 韓国から見た日本の文化

韓国人から見た日本文化は、コピー文化、熟慮なしの反射文化、体系なきごちゃ混ぜ・雑種文化、型にはめ込もうとする様式文化、野蛮で暴力的な武家の伝統(刀文化)と見えるそうです。日本人は自分にとって都合のよいところだけを切り取って集める、文化的には無節操な人と映るのです。韓国人にとっては、文化とは、一つの価値体系の全体であります。例えば、韓国も日本も儒教を受け入れました。儒教は今でも韓国民の精神の根幹をなしています。確かに日本は、儒教の総体を受け入れたのではなく、主に人間のあり方と人間関係のあり方(礼節)を規定するために受容したのです。

外国文化を受け入れることは、文化の理念なり価値観なりを受け入れることですが、日本人は外国文化を解体して、都合のよいところだけを摂取してきました。これは韓国人には無自覚

で失礼と映るようです。言われてみれば、これぞ日本の原産という文化は歴史上ほとんどありません。古くは、中国、韓国から、文字・言語・行政制度・文化・建築を受け入れ、明治以降は西洋文化を受け入れました。そして、現在は製品のみならず文化の輸出の時代にあります。私たちの身の回りをみれば、これぞ日本の物という物はほとんどありません。私たちは、外国の物や考え(発明・発見を含めて)をスポンジのように吸収し、持たないものは受け入れ、都合の良いものは既存のものとの融合して新たなもの(和洋折衷)のものを作り出します。文化の消化不良を起こさないのです。この点で、中国や韓国も既存の物を捨てないと新しい外来の文化を受け入れることが難しいという特徴があります。科学の世界では、ノーベル賞受賞者も多く出ていますが、日本人は発明・発見は弱いと言われます。発明発見の原理を製品化、実用化するところ、発明品に改良改善を加えて、より優れた製品にすることに日本人は傑出していると言えるでしょう。個人主義の西洋人社会では「個」が尊重されます。独自性の社会です。これが発明・発見の土壌なのです。集団指向社会の日本人は、対立や意見の相違は好まれず、全体・チームワークが重んじられます。こういう民族は、発明・発見より、実用化・改良改善に一層力を発揮すると言えると思います。

5. 両国の宗教観の相違

韓国では、戦後キリスト教信者が急増しました。現在、総人口の30%がキリスト教徒です。宗教人口は総人口の53.1%です。仏教徒は22.8%、キリスト教徒は29.2%(プロテスタント18.3%、カトリック10.9%)、儒教徒0.2%です。修験道は仏教と神道の習合であるように、韓国の儒教・仏教には両者の習合が見られます。儒教では、先祖を祭祀する目的は男子単系血族で構成される同姓血族集団の持続と繁栄ですが、キリスト教や仏教は個人の魂の救済です。これは韓国では苗字は少ないことの原因でもあります。日本では現在から過去に系図を辿りますが、韓国では過去から現在に辿れます。これは、男子単系血族で構成される同姓血族集団の持続と繁栄を重んじるからこそできることです。

日・韓人とも「あの世」を楽観視しています。しかし、「あの世」は日本人には近く、死ねばすぐ行ける世界です。韓国人には遠くにあり、そこに達するまでには段階があり時間がかかるのです。

日本社会では「自殺」と「心中」に寛大です。キリスト教社会では自殺に対しては厳しいです。われわれの命は神が授けたもので、われわれは勝手に命を絶つことは神の意志に逆らうことなのです。無理心中は一方が道ずれにするのですから、他人の命を奪うことであり、殺人の一種なのです。

儒教は、道徳律を教える教えと考えがちですが、本来的には宗教なのです。よい生き方をした先祖に対する謹む気持ちをもとに、「孝」を延長する儀礼として発展しました。不幸な死に方をした霊に対しては冷たい。死者は特定な家族を通じて子孫たちから祭祀(供養)を受ける。先祖は死んだ時期から遠ざかっていくほど、祭祀集団で高い地位に昇る。先祖は生前の姿のまま死後も持続する、と考えられています。

韓国では、巫俗(ふぞく・シャーマニズム)は、死者を無から新生させることができると信じられてきました。「クツ」の儀礼を行うことによって、自殺者も否定的関係から家族に徳を与える貢献的關係に転換する。(同氏「韓国人の恨」より)

- ・ 韓国人の死後観：死霊は不浄の期間を脱すると鬼神(格の低い魂)から神(高度な魂)へ、そして先祖(純化を遂げた魂)になって遠く現世の家から離れていく。死霊は子孫を守る守護神に転生するか、先祖になれずに雑鬼になる。韓国の巫俗は、社会の表の倫理である儒教的な死生観の不足する部分を補完する裏の役割を担うのだそうです。
- ・ 日本人の死後観：仏教伝来以前からある死後観では、死霊は荒魂で恐ろしい存在である一方、残された人々を守護する力を有する。葬送儀礼・供養儀礼によつて、鎮魂儀礼・滅罪儀礼・浄化儀礼を通して、荒魂は恩寵の靈魂(和魂・神・仏)に変わる。日本の自然崇拝では、万物にタマがあり、タマシイの集合体が神であります。言葉にもコトダマあると考えられてきました。その故、口で言葉を発しなくても、心に思えば意思が伝わると言います。

「祟り(たたり)がある」「バチがあたる」は、日本人の自然への畏怖の念から生まれた。自然信仰を意識の底に強く保つところに、日本民族の最大の特徴があると言えます。日本文化や日本人の考え方を理解する上で重要ポイントであります。「自然に生かされている」と考える日本人に対して、西洋人は「自然を征服しよう」とするのです。

6. 様式美と個性

日本人にとって様式とは、自然観を凝縮した「かたち」です。生け花、茶道、書道(習字、書写)、詩歌、剣道など、すべて伝統的“かたち”(様式美)を「真似る」(コピー)ことから修得は始まり、最初から個性を伸ばそうとしない。個人主義文化では、師匠をまねることより最初から独自性や個人の特性を出すことが尊重されます。

日本人の様式美は左右対称でない形を良しとし、西洋人、中国、韓国人は左右対称(シンメトリー)を好む。(不等辺三角形と正三角形の花のいけ方)完成された姿より完成に向かって生成する過程を良しとするのが日本人の美意識であります。偶数でなく奇数、焼き物の歪み、花より蕾、満開より散り桜、爛熟より未熟、十五夜より十三夜・十六夜を良しとします。

「花は盛りに、月は隈なきをのみ、見るものかは。(中略)咲きぬべきほどの梢、散り萎れたる庭などにこそ、見所多けれ」(吉田兼好「徒然草」下137段)

7. 「もののあわれ」と「恨」

・ 「もののあわれ」は日本人の感情を代表します。命に限りある万物の移りゆく「はかなさ」に触れて感動する心で、万物の生老病死の四苦を受け入れた境地です。

日本人は、自分の苦しみ・悲しみ・弱さを見せまいとします。これは相手に対する配慮でもあります。悲しんでいる人に、その悲しみを思い起こさせないようにするのも相手を思いやる心情です。この心情が日本人には強いと思います。子供を亡くして悲しみの淵にあるのに、弔問客に対して、時には微笑を浮かべて気丈夫に振舞う喪主の態度はまさにこれです。この微笑は外国人は理解がつかないといえます。これが日本人の情緒的美意識で、慎みなのです。一方、韓国人や中国人は、自分の不幸・悲しみを親しい人に一日中でも聞いて欲しい思いで泣きじゃくります。時には、「泣き女」を雇って泣いてもらうことが今でもあるそうです。

・「恨」(ハン)は、韓国人に特有な代表的情緒表現です。「ハンは単なる「恨み」ではなく、達成したいこと、達成すべきことが出来ない自分の内部に生まれる、ある種の「悔しさ」に発しています。それが具体的な対象を持たないときには自分に対する嘆きとして表され、具体的な対象を持つときは、それが恨みとして表されると言うてよいと思います。さらに重要なことは、そうした恨を溶いていくことが美德とされ、美意識ともなる、ということである。(同著者『新・スカートの風』三交社)

わたしは韓流ドラマが大好きで、幾つかの時代劇物を繰り返しビデオで観ます。この「恨」はストーリーの主要テーマであって視聴者に主人公の感情を移入し、最後に恨の解消を共に感得させるところに面白さがあります。日本の時代劇の「敵討ち」とは少し違います。

「恨」は、人間の不完全さ、弱さを否定的にとらえて、その解消を図ろうとすることから生じます。そして、「恨」をバネに生きようとする。「恨を溶かす」「～すれば恨がなくなるだろう」は「願望を達成すれば、死後に恨がなくなる」という、人生の将来に向けての願望として使われる、と呉善花女史は述べています。(同著者『韓国人の心の美学』)

「もののあわれ」では、自分の置かれた境遇を「仕方がないこと」と肯定的に受け入れ、自分の内部で解消しようとする。恨み辛みを持たない人生を目指します。怨みに慈をもって酬いる。水が火を滅するが如しです。(仏教の「勝儀の孝」の倫理)「成せば成る」、「成るように成る」、「鳴くまで待とうホトトギス」など現状を達観した句がありますが、韓国人は、「十回叩いて折れない木はない」という句をよく使いますが、恨の解消に向けての執拗な感情が感じられます。

今、慰安婦問題、元徴用工訴訟問題、責任ある者の謝罪などの問題が起こっていますが、大半の日本人からすれば解決済みのことをぶり返すと見えますが、韓国人にとっては、豊臣秀吉の侵入以来植民地支配に至るまでの一連の屈辱に関して忘れえぬ「恨」があるのだと思います。日本人の恨み・つらみの解決は「他力本願」(成るようにしかならない、自然の流れを受け入れようとする「もののあわれ」の受容、諦めの心情、寛容でないと恥であるという抑制、忘れようとする鎮静作用)であり、韓国人は「自力本願」(恨の原因である対象への執着、自らの力で「恨」を溶かし、許すの心を持つようとする努力)です。韓国人にとっては、日本という恨の対象がある限り容易に溶解しない思いなのだと思います。

今回は、日本と中国の文化と国民性について述べたいと思います。

森田ガバナーエレクトからのお知らせ

RI会長テーマが発表されました



マーク・ダニエル・マローニー

ROTARY
CONNECTS
THE WORLD



ロータリーは
世界をつなぐ



ガバナーエレクト
森田 高史(伊勢崎RC)

2019年 国際協議会報告

去る1月13日(日)～1月18日(金)、米国カルフォルニア州サンディエゴで 国際協議会が開催され、世界540の地区からガバナーエレクトとそのパートナーを含む1,200名余りが参加しました。

マローニー会長から上記テーマが発表され、その内容は、「全てのロータリーファミリーがつながり、ロータリーネットワークのインフラが国連を含む世界とつながる」というものであります。

今回の国際協議会の最も大きな特徴は、3日目から世界1,600人の応募の中から選出された60人(日本からは3人)のローターアクターが参加したことであります。

ローターアクトの活動状況が欧米とは相当異なる日本においては、単に将来のロータリーへの入会を期待するものであれば容易なことではない、と我々は考えがちですが、必ずしも短期的な会員基盤の拡大だけを目指しているものではないことがわかりました。

現在の情報社会において、今後の鍵を握るのは、SNSやIOTといわれる情報ツールを使いこなす若い世代であり、そうした世代が次の時代を担わない限りロータリーの将来も危うくなる、というものであります。

組織体、家庭でも企業でも地域社会でも同様でしょうが、クラブや地区RIにとりまして、10年、20年という長いスパンで将来を展望する時、インターアクターやローターアクターを含む若い世代、次の世代の参加がない限り衰退していくことは自明のことかも知れません。

そうした意味では、近年実施された会員資格や例会頻度の緩和等はどちらかといえば瑣末なことであり、もっとダイナミックに将来を見通して、今までの常識を覆すような、開放的な組織運営を実践したり、新しい形式のクラブを世界で誕生させる必要があるというものです。

もっと言えば「クラブのあり方を変えることがロータリーの未来を開く」ということであると感じました。



歴史や伝統、実績というものは極めて大切なものであると思いますが、それを築いてきた先達に敬意を払いつつも、変化していかなければ将来の発展を見ることが難しいということも当然のことかも知れません。

マローニー会長が講演の中で発言した「変化に立ちはだかるクラブ」「変化に立ちはだかるロータリアン」という、同時通訳で聞いた言葉は極めて印象的でありました。

歴史や伝統を築かれたのは皆様自身ですが、この先の将来を変革しながら作り上げていくのもクラブや会員、皆様自身である、という帰結に聞こえました。ロータリーは単年度制であり、RI会長といえども任期は1年間ではありますが、ここ数年の会長テーマは前年度「ロータリー：変化をもたらす」(イアンライズリー会長)本年度「インスピレーションになろう」(バリラシン会長)と、太いベクトルの方向性の中では連綿と繋がっているものと感じております。

マローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマも将来のロータリーを見据えたロータリーを成長させるための、メッセージであるものと思います。当地区も分割以来20年近くとなりますが、会員数が減少し、クラブ数も減少し、新設クラブの実績もありません。

必ずしも私の年度で達成し得ないものもあるかとは思いますが、インターアクターやローターアクターを含めた若い次世代の人達が将来に渡って参加できるロータリー活動を目指して、チャレンジして参りたいと思います。

国際協議会におけるRIに関する情報は、「PETS・SETS」や「地区研修・協議会」月信等を通じて、今後もお伝えしていきたいと思っております。



[変更掲載]

2月月信の「森田年度 地区主要行事予定表(案)」に変更がありましたので掲載いたします。

2019	8	24	土	午後	ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス
2019	10	19~20	土~日		RYLA研修セミナー	藤岡

(森田年度)地区委員会事業計画協議会

開催日：平成31年2月2日(土) 9:30~16:15(グループごと)

場 所：伊勢崎プリオパレス

報告者：地区副幹事 安部 良憲

国際ロータリー第2840地区2019-2020年度、森田ガバナーエレクト主催による「地区委員会事業計画協議会」(委員長さんとの打ち合わせ会議)が開催されました。参加者は、山田ガバナーノミニー、竹内地区研修委員長、松島地区研修副委員長、次年度対象委員長、副委員長、地区副幹事の36名の出席で開催されました。この会議は今回初めての試みでありましたが、委員長の皆様にはご出席を頂き、森田ガバナーエレクトの各委員会に対する考え、委員長との貴重な意見交換を行うことが出来ました。今後の運営に役立つ事と思います。また、ご出席の皆様にはご協力大変ありがとうございました。

①会員組織強化グループ(9:30~10:45 [75分])

- ・会員組織強化委員会 宮内 敦夫 委員長
- ・女性ネットワーク委員会 中澤 洋子 委員長
- ・公共イメージ委員会 関口 啓子 委員長
- ・職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会 佐藤 信一 委員長



②ロータリー財団グループ(11:00~12:30 [90分])

- ・ロータリー財団委員会 板垣 忍 委員長
- ・ポリオプラス委員会 橋谷 晋治 委員長(欠席)
- ・資金推進委員会 金井 修 委員長
- ・資金管理・平和フェローシップ委員会 川口 修 委員長
- ・補助金委員会 山田 利和 委員長
- ・地区補助金委員会 石川 好夫 委員長
- ・グローバル補助金委員会 津久井 功 委員長



③青少年奉仕グループ(13:15~15:00 [105分])

- ・青少年交換委員会 吉井 宏文 委員長
- ・インターアクト委員会 竹部 弘昭 委員長
- ・ローターアクト委員会 堤 謙治 委員長
- ・RYLA・学友委員会 古市 和男 委員長



④米山記念奨学グループ(15:15~16:15 [60分])

- ・米山記念奨学委員会 板橋 一博 委員長
深井 正毅 副委員長
高沢 克治 副委員長



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



ハイライトよねやま

2019.2.13

Vol.227

2019 学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2019年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が12月上旬から1月下旬にかけて、全国34地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者1,384人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた616人(枠)が合格予定です(今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって人数の変動あり)。このほか、現役奨学生の延長制度である

クラブ支援奨学金、2019学年度から正規プログラムとなった渡日前採用型の海外応募者対象奨学金、台湾および韓国の米山校友会が候補者(博士号をもつ上級研究員)を推薦する海外学友会推薦奨学金の合格予定者も報告されています。

2019学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた850人(枠)となります。

ホーチミンの学友グループが奉仕活動

昨年12月16日、ホーチミンの米山学友グループが第16回奉仕活動を実施しました。ベトナムにはまだ正式な学友会はありませんが、ホーチミンでは学友たちが、年に数回の奉仕活動を続けています。

今回の訪問先はホーチミン市内の視覚障がい者福祉施設、An Binh ホーム。以前にも同ホームで奉仕活動をしたことがあり、施設の子供たちと2年ぶりの再会を果たしました。子供たちから口々に「視覚障がい者マラソン大会でメダルを獲得した」「大学を卒業して就職することができた」などの嬉しい報告を受け、成長を実感する訪問となりました。寄付金約3万円のほか、調理器



具やシャンプーなどの日用品を寄贈しました。当日は、学友4人のほか、同学友グループが奨学支援している HUTECH 大学のベトナム人学生3人も活動に参加。「ベトナムの若者にも、私たち学友グループの活動に参加してもらおうことで、奉仕の精神を身に付けてもらえたら」と、チュオン トウイ ランさん(2006-07/大宮北東RC)は期待を込めて語りました。



具やシャンプーなどの日用品を寄贈しました。当日は、学友4人のほか、同学友グループが奨学支援している HUTECH 大学のベトナム人学生3人も活動に参加。「ベトナムの若者にも、私たち学友グループの活動に参加してもらおうことで、奉仕の精神を身に付けてもらえたら」と、チュオン トウイ ランさん(2006-07/大宮北東RC)は期待を込めて語りました。

寄付金速報 — 下期も順調にスタート —

1月までの寄付金は前年同期と比べて0.8%減(普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:1.4%減)約850万円の減少となりましたが、直近5年間の中では1月に入金された単月の寄付額では一番多い金額となり、下期も順調に良いスタートを切ることができました。

1月は普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付)下期分の納入が主となります。今年度は1月末までに全クラブの75%、1,696クラブからご納入いただきました。今後ともご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北京・上海で学友が集合

【華北】

12月23日、華北学友会の忘年会が北京市内で開催され、北京・天津を拠点とする学友19人が集まりました。華北学友会としての集まりが開かれるのは、数年ぶりのことです。元会長の韓霏さん（1996-98／豊田RC）が米山奨学生時代の時のカウンセラーが齋藤直美理事長で、20年来の親交が続いているという縁もあり、当会から齋藤理事長と岩邊事務局長も出席し、学友たちからの熱烈な歓迎を受けました。また、当日の参加学友の



一人、劉亜斌さん（2000-01／千葉南RC）は現在、日本と中国を拠点に仕事をしており、世話クラブの千葉南RCの会員にもなっているとのうれしいニュースも報告されました。昨年10月には、クラブの創立55周年記念旅行で中国・大連に出かけ、劉さんのコーディネートで千葉南RCの会員17人が現地の児童福祉施設を訪問して子どもたちと交流。その通訳も大連在住の米山学友が務め、ほかの学友たちも集まって、会員の皆さんとの親睦交流を深めたとのことでした。

【上海】

上海を拠点とする中国米山学友会が1月12日、年次総会を開催し、全国から学友47人が参加しました。今回の総会は「致青春」をテーマとし、焦徳思会長（2000-02／伊丹昆陽池RC）の挨拶に続いて、活動報告・財務報告がありました。また、同学友会が4年間にわたって継続している奉仕活動、甘肅省臨洮県の苟家山小学校から王校長がはるばる参加し、支援のお礼を述べたほか、学友会活動に積極的に参加する4人の学友が表彰されました。第二部の懇親



会では、参加者から事前に募集した米山奨学生時代の写真をスライドに映し、世話クラブ例会や奉仕活動に参加した時の写真、また、カウンセラーと一緒に写真を、当時は回想しながら各自が紹介しました。「貴重な1枚1枚の写真に感謝の気持ちがたくさん込められていました。参加した学友の中には、当時のことを思い出した涙が出たという人もいました。私たちの青春にはいつも、日本のロータリアンの方々がいまし

た」と、幹事長を務める作暁敏さん（2005-07／東京東江戸川RC）がコメントを寄せてくださいました。

【訃報】 評議員 佐藤博明氏（第2540地区）逝去

評議員の佐藤博明氏（第2540地区）が1月18日にご逝去されました。享年73歳でした。佐藤氏は、2013-14年度の国際ロータリー第2540地区ガバナーで、2015年9月に当会評議員に就任され、以降、4年間にわたり評議員としてご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 miyauchi@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにて お送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願い致します
- この月信のPDFデータを印刷してクラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

表紙写真解説：白山清浄院(しょうじょういん)

この寺は、宮内敦夫ガバナーが住職を務める寺で、昨年末に鐘楼堂が完成しました。利根川中流河畔にある古刹です。草創は明らかではありませんが、鎌倉時代からあるそうです。4月下旬には宮内ガバナー自ら植栽した多くの牡丹が咲き誇る事で「ぼたん寺」とも呼ばれています。